



ASAKURA

2025

医療特集号



新たな年度 令和7年度 を迎えて

院長 志波直人



新たな12名の常勤医師赴任と平日日勤帯当日紹介患者の受け入れ

令和7年度から12名の医師が新たに朝倉医師会病院で常勤医師として勤務しています。

久留米大学からの出向7名、就職の医師5名です。主に内科系医師の増員により、平日日勤帯の当日紹介患者のより円滑な受け入れを目的に、地域連携室に連絡をいただいて直ちに受け入れる体制ができました。これは、通常の紹介、救急車でのご搬送に加えて、地域の医療機関などからの要請による、当日の急な紹介患者の受け入れが対象となるものです。また、各診療科医師の充実により、本年度からは診療科間の連携がより強化され、内科系と外科系が両輪となって、地域医療をさらに推進するものと期待されます。今後もお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

久留米大学医学部教育関連病院として

当院は16施設ある久留米大学医学部教育関連病院の一施設として登録されています。

朝倉医師会病院医学教育センターを立ち上げ、医学部学生、研修医、専攻医を受け入れて、大学病院では経験できない地域医療、高齢者医療、緩和医療の臨地実習を行うことで、医学教育を通じて久留米大学医学部、大学病院とのさらなる連携強化を目指します。医学生や若い医師の受け入れは、担当者の負担は増えますが、それ以上に医師を含めた職員全体のモチベーション向上に繋がっています。

病院経営と医学部関連病院

病床稼働率向上、DPC係数向上、効率化の同時進行が病院経営に不可欠で、経営状況の客観的な評価と適切な対応が必要です。これをいかに実践するか、医師会理事の先生方と相談しながら運営を進めています。一方で、医学部・大学病院との連携強化は、病院経営に必要な継続的医師確保と密接に関連しており、将来に亘る地域医療の実践には極めて重要です。医学部教育関連病院として医学教育を担当することは、久留米大学医学部にとっても、当院が実践する地域医療にとっても、双方にとって有益なものとなります。

おわりに

令和7年度、朝倉医師会病院は新体制で新たな歩みが始まりました。今後も、職員一丸となって地域医療の実践に向けて、さらなる努力を継続する所存です。今後ともご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

取り組み



院長特別補佐
田中芳明

2023年4月より朝倉医師会病院の院長特別補佐として、主に医療安全や診療情報、臨床栄養などの病院管理の統括として、また病院経営面で院長のサポートを務めています。

医療安全、診療情報管理においては、各種規定の策定や改正、安全対策の周知徹底など体制強化に努め、同時に各部署での診療内容のモニタリングの実施、指導を継続して行い、病院機能評価、立ち入り検査においてしっかり対応できるよう取り組んでいます。

栄養管理面では、栄養不良例の栄養管理を支援する栄養サポートチーム（NST）を指導し、その活動を充実させ、また給食業務は業者委託から直営管理へと大幅な変更に取り組みました。通常、給食業務は委託業者に依頼する医療施設が大半ですが、人件費を含む委託管理費は毎年高騰し給食部門のマイナス収支は避けられないのが現状です。

そこで当院では、朝倉医師会のご理解ご協力を得て、人材確保や必要設備の充実などしっかりと準備したうえで、昨年度よりニュークックチル方式での直営運営に切り替えました。以前の提供2時間前調理（サーブ方式）では、業務の煩雑さに加え早朝4時50分からスタッフを確保し、365日体制での実施が必須でした。一方、ニュークックチル方式（加熱調理した料理を急速冷却、チルド状態で盛り付け、提供前に器ごと再加熱）は、最高3日間の食事を計画調理することで食事の保存確保ができ、調理スタッフの早朝勤務の緩和（6時出勤）や週末の休日確保が可能となります。その他、電気料金もサーブ方式より大幅に安価となり経済的で、災害時の第一食の確保が可能です。地元の食材を使用する地産地消を積極的に取り入れた2024年度1年間の運営結果では、計画予測通り、以前の委託運営に比べ管理料や人件費の大幅な削減効果が得られ、病院運営へ貢献できています。

また、新人の管理栄養士たちも献立作成や、調理管理（衛生管理、下処理、盛り付け、トレイメイク、機器の把握）面で技術、知識を十分習得し、2年目からは病棟にて栄養指導業務に就いています。

以上の通り、病院管理において労働環境も含め日々改善に取り組んでいます。

整形外科

常勤医師

志波 直人
吉光 一浩
山木 宏道
矢野 瑤子

特 長

当科では幼児から大人までの骨折などの外傷、変形性関節症などの関節疾患、さらに手根管症候群などの神経障害を取り扱います。

関節疾患の中でも特に股関節、膝関節が専門ですので、これまでの多くの経験を生かして保存治療から手術治療まで対応します。人工股関節置換術、人工膝関節置換術は積極的に行っています。人工関節手術では、自己血輸血を活用し、十分な術前精査と合併症対策を行い、安全に手術を行うよう心がけています。手術適応の患者さんだけでなく、痛みに関する診断についてもどうぞお気軽にご紹介ください。大きな合併症がない患者さんは、自己血貯血も含め、初診から約6～8週程度で手術が可能です。

胸腰椎圧迫骨折の患者さんに対しては、薬物による疼痛管理、コルセットの作製を行い、早期リハビリテーションを行います。

入院患者さんにつきましては、急性期病院としての役割を果たすために、入院より約2週間で疾患に応じ、当院の地域包括ケア病棟への

転棟または回復期病棟を有する病院へ転院とし、リハビリを継続させていただきます。

骨粗鬆症については、朝倉地区での骨粗鬆症連携を重視しております。骨脆弱性骨折で入院した患者さんには、多職種協働により早期に骨粗鬆症治療介入とサポートを行っています。患者さんが転院や退院後も継続して治療を受けられますようご協力をお願いします。

股関節、膝関節疾患および骨粗鬆症については、専門外来として、関節外科（股関節・膝関節）外来、骨粗鬆症外来を開設しています。

脊椎脊髄疾患や腫瘍性疾患、肩関節疾患、手の外科、足の外科の領域の手術は当院では行っていないが、当科にご紹介いただければ、精査を行った上で、久留米大学病院整形外科およびその関連病院と連携し治療を行います。

地域医療に貢献したいと考えています。何かありましたらご紹介ください。

● 主な取り扱い疾患 ●

外 傷

骨折、捻挫、靱帯損傷 など

慢性疾患

変形性関節症（特に股関節・膝関節）、変形性脊椎症、腰部脊柱管狭窄症 など

末梢神経障害

手根管症候群 など

● 検 査 ・ 手 術 ●

検 査

単純X線撮影、X線CT、MRI、骨密度検査（DEXA法）、神経伝導速度検査、エコー検査

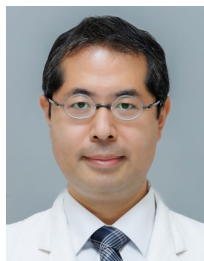
手 術

人工膝関節置換術
人工股関節置換術
四肢の骨折
手根管症候群に対する手術
など



志波 直人

病院長
【専門領域】
整形外科
リハビリテーション



吉光 一浩

整形外科部長
【専門領域】
整形外科

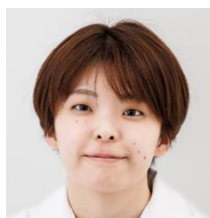
（一般・外傷・関節リウマチ
運動器リハビリテーション）
関節外科
（人工股関節・人工膝関節）
自己血輸血



山木 宏道

【専門領域】

整形外科（一般・外傷）
関節外科（人工股関節）



矢野 瑤子

2025年 4月着任
【専門領域】
整形外科一般

●人工股・膝関節置換術の初診から入院・手術・退院まで●

●初診●

手術に支障がないか全身チェックをします

血液検査、心電図
心エコー、下肢静脈エコー
単純X線撮影、X線CT
骨密度検査（DEXA法）、（MRI）など

人工関節手術の適応についての評価を行います。
既往症や内服薬の確認と評価を行います。
貧血の評価を行い、必要に応じて栄養指導、
鉄剤内服を開始します。
骨粗鬆症の評価を行い、必要があれば骨粗鬆症
の治療介入をします。
手術の概要と治療の流れについて患者さんに
説明します。

●手術1ヶ月前●

手術前の最終チェックをします

血液検査、心電図
単純X線撮影、（MRI）など

自己血の採取をします

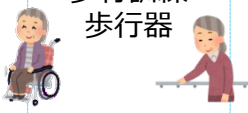
患者さんの年齢、全身状態に応じ、
200～400mLの自己血貯血を行います

手術の約1ヶ月前に最終評価と確認を行います。
手術についての説明、自己血輸血や同種血輸血の
必要性とそのリスクなどについて説明を行います。

最終評価後、自己血貯血を行います。
患者さんの状態に応じて、200～400mLの貯血を
行います。
自己血採取は、学会認定・自己血輸血責任医師の
適応判断と指導の下、学会認定・自己血輸血看護
師と外来看護チームが行います。

●入院・手術・退院まで●

一般的な例で、関節の状態や術式により異なることもあります

	手術前日	手術日	術後1日	2日	1週	2週～
リハビリ 経過など	入院 	手術 	端座位 車椅子 	立位 歩行訓練 歩行器 	抜糸 歩行器 一本杖 	自宅退院 

十分なリハビリテーションを希望される患者さんは、地域包括ケア病棟に転棟のうえ、約1ヶ月ほどの入院が可能です

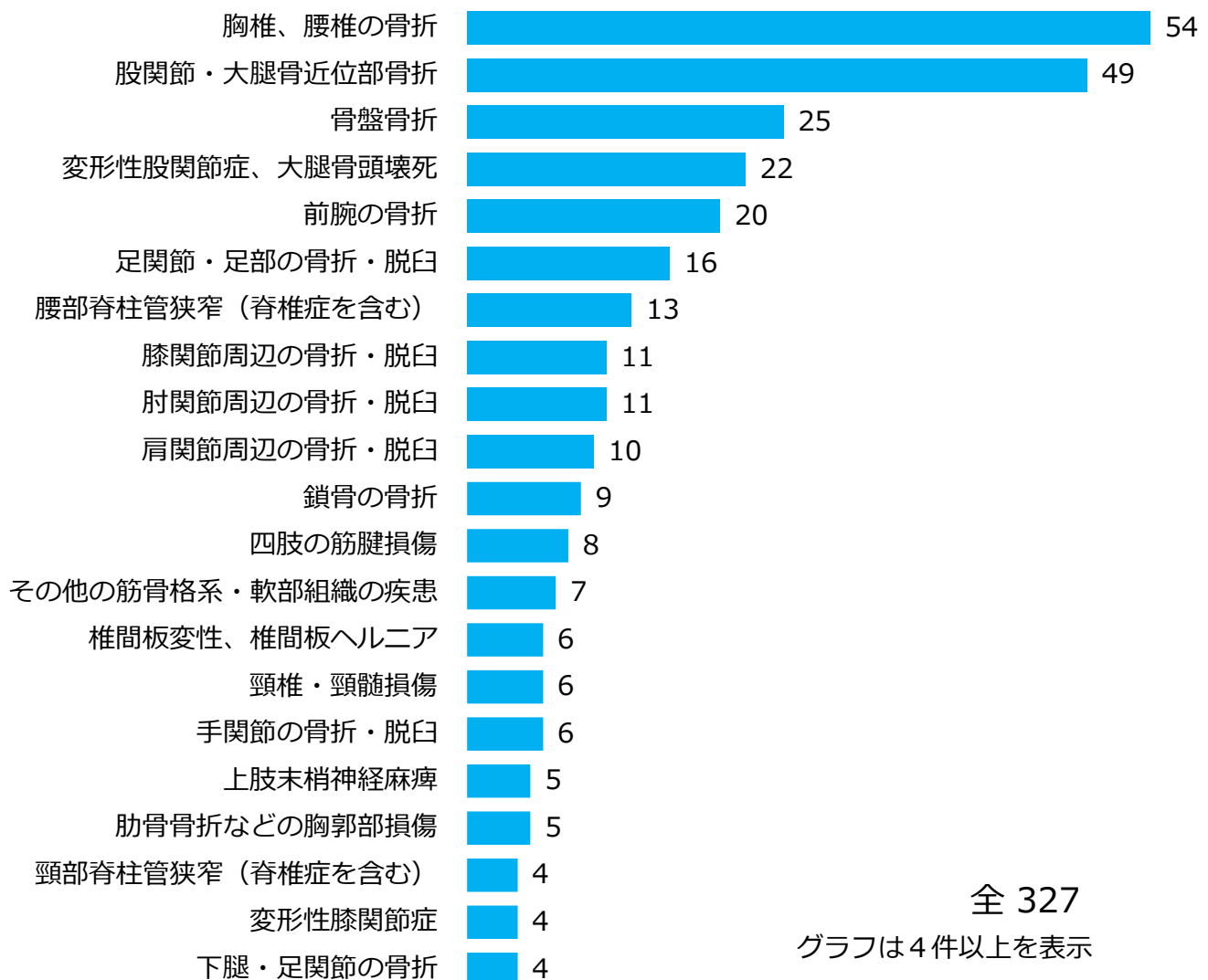
●外来診療担当表●

2025年4月現在

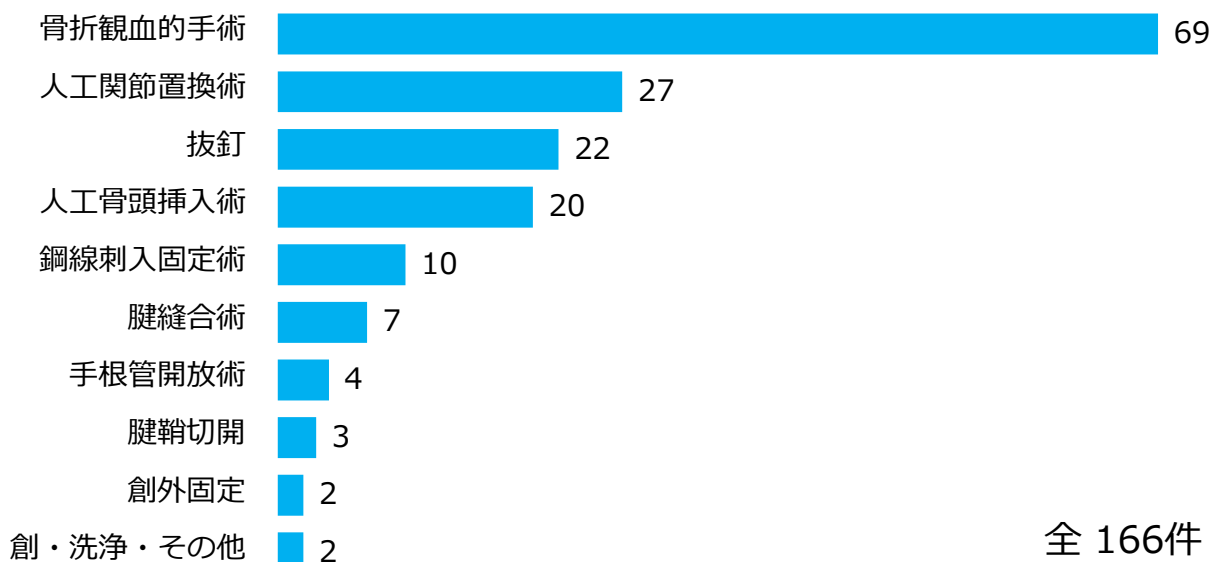
	月	火	水	木	金	土
午前	吉光 関節外科 整形外科一般	志波 骨粗鬆症	山木 整形外科一般	山木 関節外科 整形外科一般	志波 骨粗鬆症	担当医
	山木 関節外科 整形外科一般	高木 (久留米大学) 整形外科一般		矢野 整形外科一般	吉光 関節外科 整形外科一般 矢野 整形外科一般	
午後						休診

● 2024年度 整形外科 統計情報 ●

● 入院患者 疾患別件数 ●



● 手術 術式別件数 ●



外科/肝・胆・膵外科

特 長



今村 真大
副院長
外科部長

【専門領域】
肝胆膵外科
消化器外科

肝胆膵領域は動脈、門脈、静脈の複雑な脈管系と胆道系が多くのバリエーションで絡み合っています。また癌の部位により肝臓の切除、胆管・胆嚢の切除、膵臓と十二指腸の切除など手術法也多岐にわたります。

肝細胞癌、胆管細胞癌は患者さんの状態が許せば手術による切除がもっとも効果的ですが、腫瘍の状況により化学療法(抗癌剤)や肝細胞癌であればラジオ波焼灼術なども選択されます。また、消化器内科と連携して肝動脈化学塞栓療法や肝動脈動注化学療法などの治療も行われます。転移性肝腫瘍は大腸癌など他の臓器の癌が原因ですが、腫瘍の数や部位、大きさなどから手術あるいは焼灼療法と化学療法を交えて治療を行います。胆管癌、胆嚢癌、膵臓癌も手術療法を柱として患者さんの状態や病状を考慮して化学療法を交えた治療を行います。

手術前に3D-CTやMRI、超音波検査など最新の画像診断を行い、より安全で確実な治療を心がけ成績の向上を図っています。腹腔鏡を使用した胆石症、脾腫、巨大肝嚢胞などの手術も積極的に取り入れております。

● 主な取り扱い疾患 ●

肝臓	肝細胞がん 胆管細胞がん 転移性肝腫瘍 巨大肝嚢胞	膵臓	膵臓がん 膵管内腫瘍
胆道	肝外胆管がん 胆のうがん 十二指腸乳頭部がん 胆石症	脾臓	肝硬変に伴う脾腫

● 治 療 ●

手術、化学療法、放射線療法、
免疫療法、緩和ケア
など

● 外来診療担当表 ●

		月	火	水	木	金	土
消化管	午前	堀尾卓矢 (新患)	今村真大 (新患) 田尻健亮	木山楓 (新患) 今村真大	村上英嗣 (新患)	田尻健亮 (新患) 村上英嗣 木山楓	担当医
肝・胆・膵	午前		今村真大	今村真大			
呼吸器外科	午前				光岡正浩		
血管外科 (完全予約)	午後				比嘉義輝 (第1,3週のみ)		

外科



田尻 健亮
消化器外科部長
2025年4月 着任
【専門領域】
消化器外科

常勤医師

今村 真大
檜垣 賢作
堀尾 卓矢

田尻 健亮
村上 英嗣
木山 楓

非常勤医師

光岡 正浩
比嘉 義輝

竹中 美貴

【専門領域】
外科全般、救急



村上 英嗣
【専門領域】
消化器外科



堀尾 卓矢
【専門領域】
消化器外科、一般外科



木山 楓
2025年 4月着任
【専門領域】
外科全般

朝倉医師会病院外科では胃、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓、乳腺などの手術を手掛けてまいりましたが、外科の診療を益々充実させるために専門性を重視する診療体制を構築し、多職種のスタッフがー丸となり、チーム医療を展開しております。

今後も専門性を明確にすることにより朝倉地区の消化管外科、肝胆膵外科、乳腺外科、呼吸器外科の診療拠点になれるよう目指してまいります。

朝倉地区の地域医療に少しでも貢献できるようにスタッフ一同で全力を尽くしてまいりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

特 長

消化管外科

消化管外科では、主に悪性疾患を対象としており、胃がん、大腸がん、直腸がんに対して腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。

悪性疾患に関しては、術後の栄養管理や化学療法・分子標的治療などの薬物療法、切除困難な肝転移に対しては塞栓化学療法やRFA療法、また、疼痛コントロールなどの緩和治療にも取り組む“がんの包括的治療”を目指しています。

安心・安全・信頼のおける医療の提供をモットーに、スタッフ一同、お待ちしております。

● 主な取り扱い疾患 ●

胃がん
大腸がん(結腸がん、直腸がん)
腸閉塞、直腸脱、痔核
肺がん、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、
気胸、膿胸、胸部外傷

など

呼吸器外科

呼吸器外科で扱う疾患は多種多様で、複雑で、様々な分野が関与する場合があります。

当院では他分野の外科、呼吸器内科、麻酔科、病理などとの横断的連携がスムーズであり、症例ごとに最も適切だと考えられる治療法を検討し、医療を施される側も施す側も安心度・満足度が高くなるように心がけています。

また、地域医療機関や大学病院との連携も強化しています。当院は呼吸器外科専門医合同委員会の関連施設に認定されています。

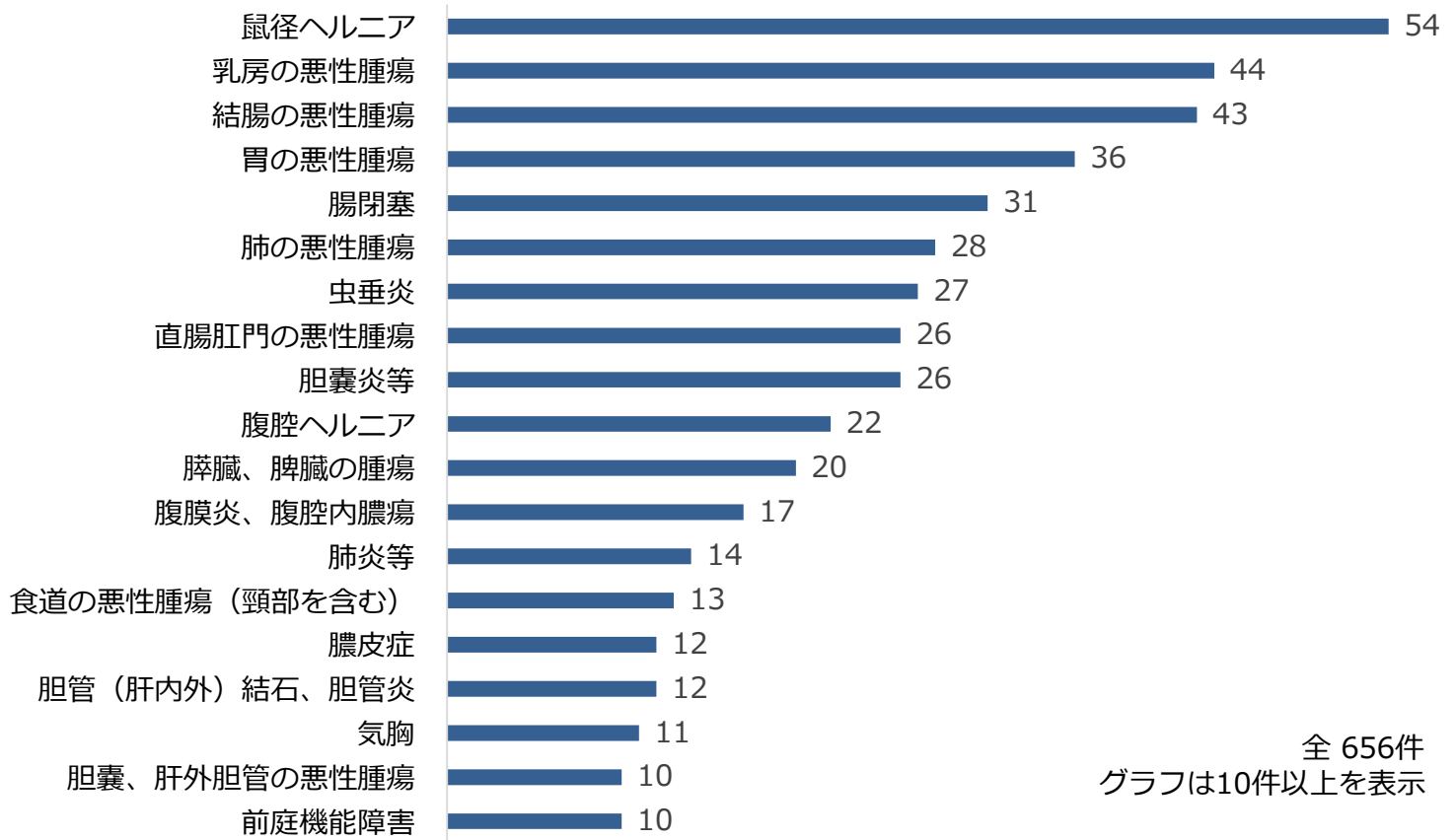
● 治 療 ●

手術、化学療法、放射線療法、
免疫療法、緩和ケア

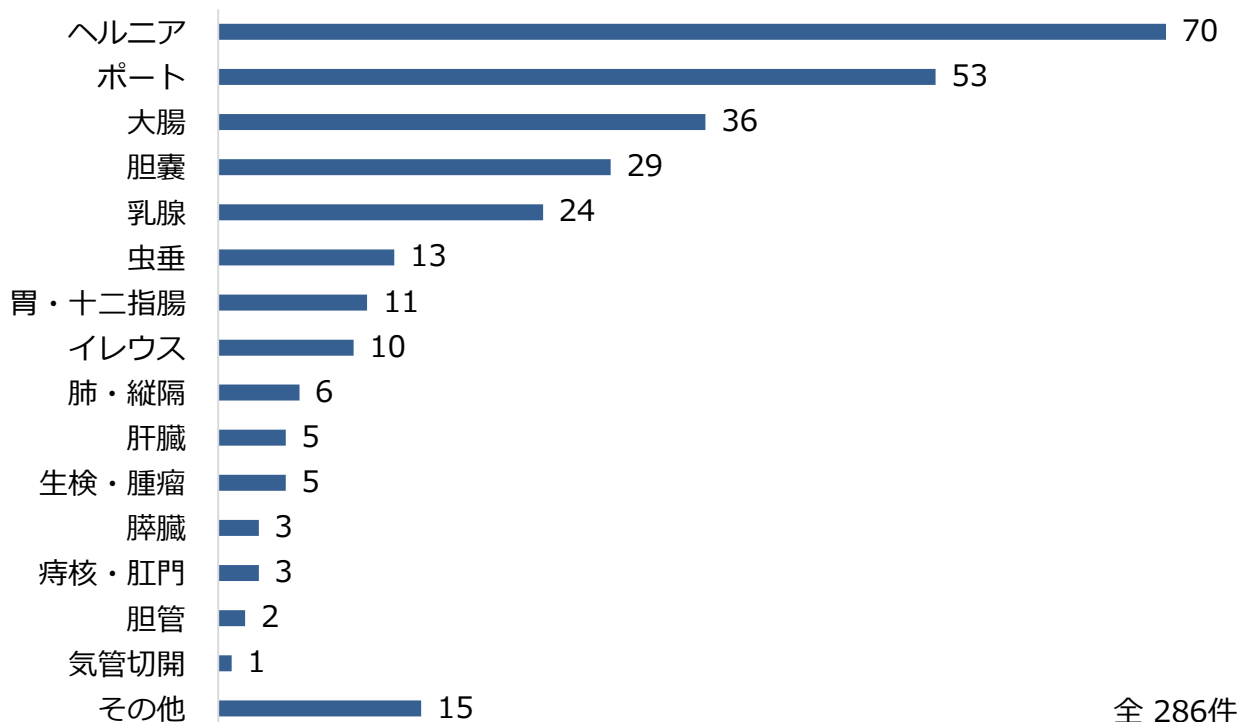
など

● 2024年度 外科 統計情報 ●

● 入院患者 疾患別件数 ●



● 手術 部位別件数 ●



乳腺外科

非常勤医師

竹中 美貴

特 長

乳がんは人口10万人あたり73例、部位別のがん罹患数では女性の1位です(2020年がん統計より)。30歳代から徐々に発症数が増加し60歳代をピークに80、90歳代でも発症し、高齢化が進む朝倉地区では今後も乳がん患者さんが増加することが予想されます。

当院では検診2次検査や、しこりや分泌症状など気になる自覚症状などあれば、乳腺専門医による診察、エコー、マンモグラフィーによる診断が可能です。またがん診断に必要な針生検なども外来で可能です。

乳がんと診断された場合は、手術、術前抗がん剤治療、術後抗がん剤治療、ホルモン療法など、乳がんのタイプ・進行度に応じた様々な治療方法があります。ガイドラインに沿った治療を行います。ガイドラインの遵守だけではなく患者様の全身状態や生活状況などにあつた治療方法を提案し、迅速に診断・治療が行えるよう対応いたします。当院で行えない治療については久留米大学病院などの医療機関にご紹介いたします。



Pink Ribbon

マンモグラフィー検査



乳房のX線撮影のことを、マンモグラフィーと言います。触れることができない微小石灰化などの早期の乳腺疾患や、しこりのできない乳腺疾患の広がりを診断できます。

- 上半身は、専用の検査着に着替えます。
- 乳房を左右片方ずつ、圧迫板ではさんで撮影します。

1方向(2枚)撮影 or 2方向(4枚)撮影
※必要により、追加撮影

実際の撮影では、乳房を引っ張って圧迫しながら行います。個人差はありますが、圧迫の際に多少痛みを伴うことがあります。しかし圧迫は、被ばく線量を低減し、診断に適した画像を得るためにとても重要です。生理前には、ホルモンの関係で乳房が張って痛むことがありますので可能な方は**生理が始まってから2～3日目以降**に受けられることをお勧めします。

外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
乳腺			竹中			

当院では「マンモグラフィー検診精度管理中央委員会」の認定を受けたデジタルマンモグラフィー装置を使用し、「検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師」である**女性技師**が撮影を担当しています。

泌尿器科

常勤医師

坂井友弥

非常勤医師

築井克聡

特長



坂井 友弥
2025年 4月着任

当科では排尿障害、尿路性器の腫瘍性疾患、尿路結石症、尿路・性感染症など泌尿器科全般の疾患を取り扱っています。現在は常勤1名体制で、水曜日・木曜日に久留米大学泌尿器科から応援医師を依頼し手術、外来診療を行っております。主な手術としては前立腺肥大症や尿路上皮がん、尿路結石症に対する経尿道的手術や尿管ステント留置術などが多く占めています。また化学療法や放射線治療などを久留米大学病院と連携をとりながら行っています。ガイドラインに準じた標準的な治療に加えて、患者さんのお悩みや症状に合わせて、最適な治療方法を提供しながら、近隣の病院やクリニックとも連携し、信頼性の高い医療を提供できるよう努めて参ります。

●主な取り扱い疾患●

悪性疾患

前立腺がん、尿路上皮癌がん、腎臓がん、精巣がん、後腹膜軟部腫瘍

良性疾患

尿路結石症、前立腺肥大症、過活動膀胱、尿路感染症、副腎腫瘍

HoLEPの特長

- ◆内視鏡手術で身体への負担が少ない
- ◆出血や術後の疼痛が少ない
- ◆前立腺の大きさに制限がない
- ◆再発しにくい



●主な手術・検査●

- ・尿道的膀胱腫瘍切除術
- ・経尿道的尿管結石砕石術
- ・経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術
- ・経尿道的尿管ステント留置術
- ・経直腸的前立腺生検
- ・経皮的膀胱瘻造設術

入院～退院までの概要

入院日数	内容
1日目	入院
2日目	手術、欠食
3日目	食事再開、歩行開始
4日目	尿道カテーテル抜去
5日目	経過観察
6日目	退院

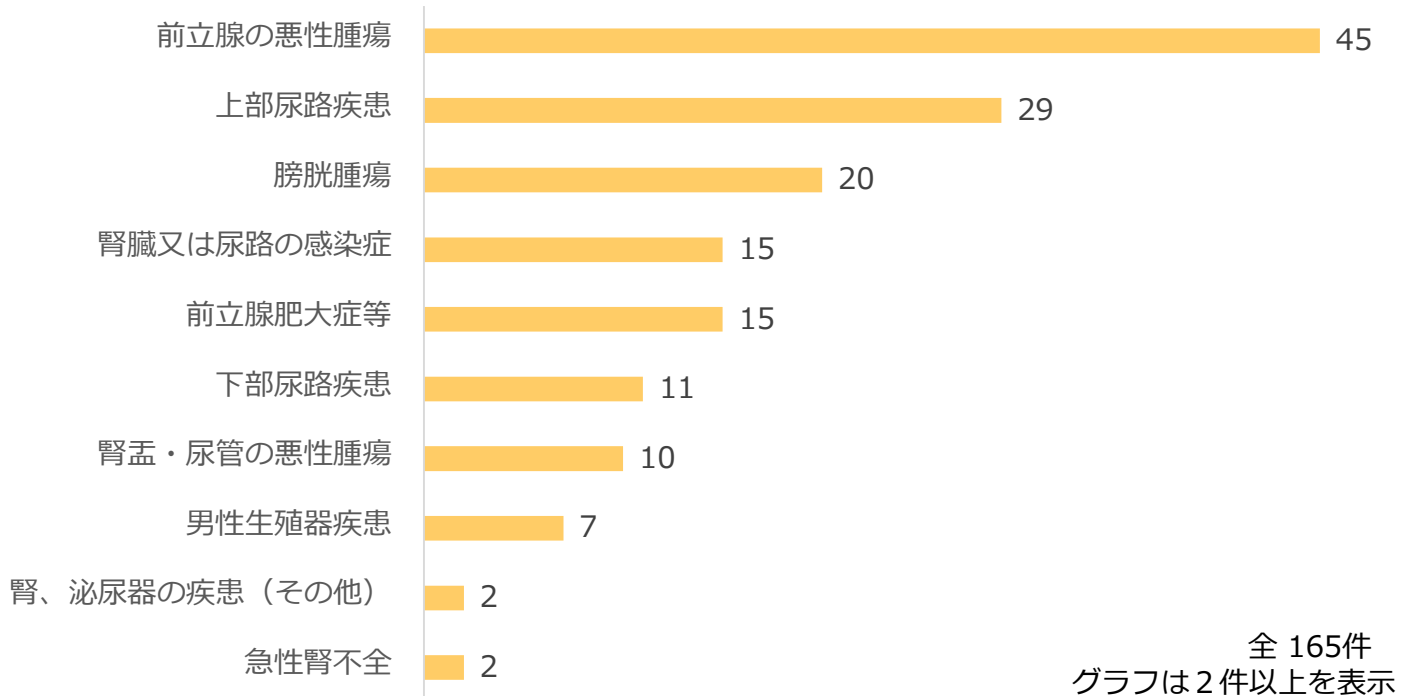


●外来診療担当表●

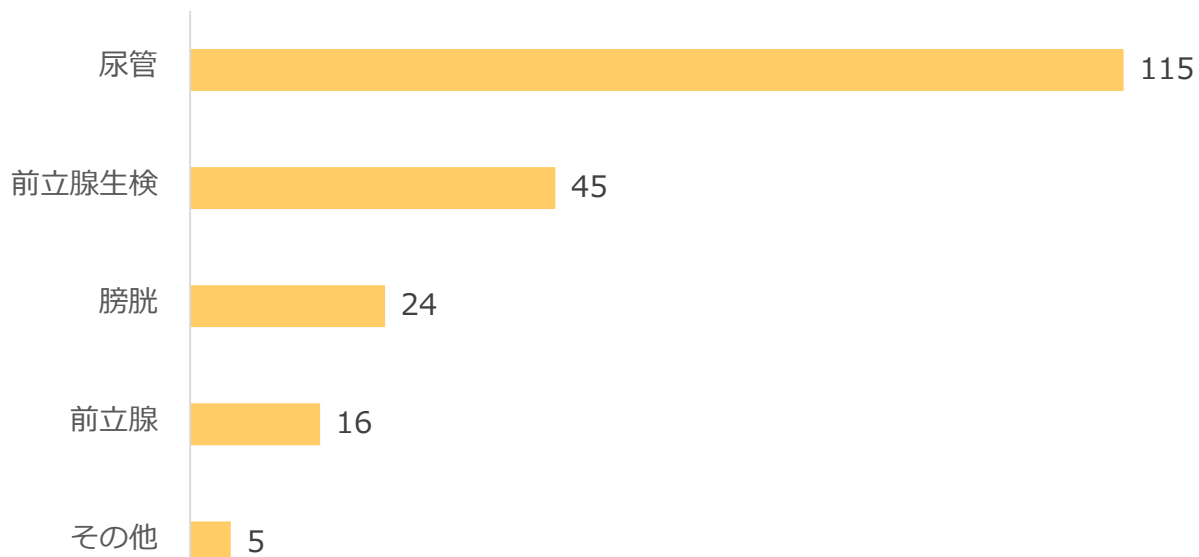
月	火	水	木	金	土
坂井	坂井	坂井・築井		坂井	

● 2024年度 泌尿器科 統計情報 ●

● 入院患者 泌尿器科 統計情報 ●



● 手術部位別件数 ●



全 205件

小児外科

常勤医師 深堀 優



深堀 優
小児外科部長

● 特 長 ●

小児外科とは、0才の新生児から15歳までのお子さんを対象とした、こどもの一般外科です。
また、子供の時に小児外科で手術を受けて、15歳以降も診療が必要な方も診察致します。

● 専門外来 ●

「こどものおなか外来（嘔吐・腹痛・便秘）」

腹部超音波検査などを用いた丁寧な診療を行っております。

● 主な取り扱い疾患 ●

- ・ 臍ヘルニア、肛門周囲膿瘍、包茎、鼠径ヘルニア、消化管異物、停留精巣など
- ・ 小学生くらいのお子さんですと、虫垂炎
- ・ 障害のあるお子さんで、気管切開や、胃瘻を作成した方のカニューレ交換や胃瘻ボタンの交換 など

● 検査・手術 ●

手術対象症例：

比較的症例数の多い、鼠径ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニア、急性虫垂炎など

入院体制：

鼠径ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニアは2泊3日、急性虫垂炎に関しては、初発時は抗生剤加療を行って症状軽快後に3か月程間隔を空けての6泊7日

「小児の創傷処置」：

お子さんの、「包丁で切りました」「転んで怪我してしまった」といった傷の縫合や消毒処置、動物に噛まれた、火傷したなどの外傷の処置などにも対応いたします。



2024年度 手術 術式別件数

腹腔鏡下虫垂切除術	1	
臍ヘルニア	3	
鼠径ヘルニア	7	
停留精巣固定術	4	
腹腔鏡下鼠経ヘルニア	2	
		全 17件

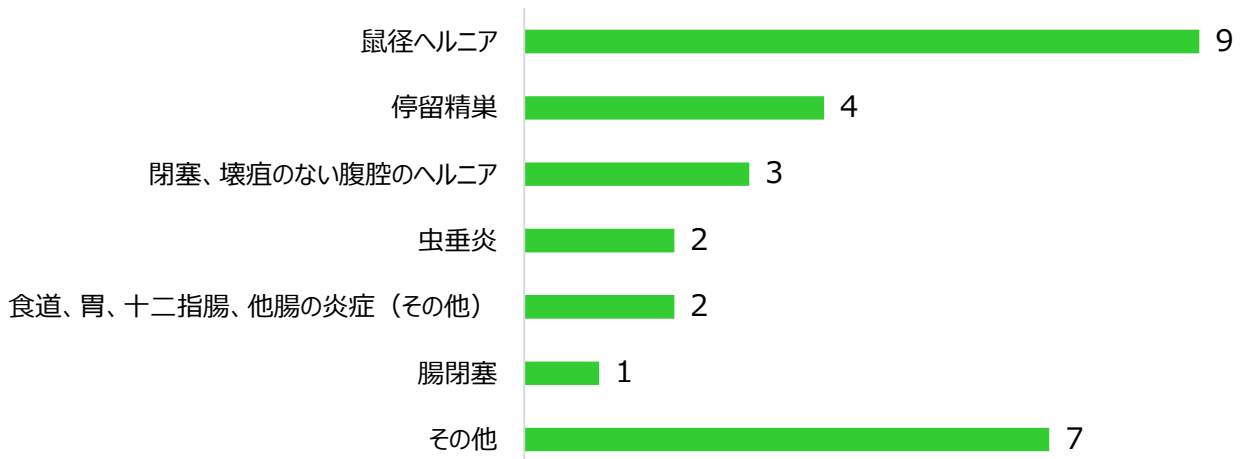
これらの症状で、お困りのお子さんがおられましたらご紹介頂けますと幸いです。

● 外 来 診 療 担 当 表 ●

月	火	水	木	金	土
○		○ 第2週は AMのみ	不在日	○ 第1、2、4 週	

* 火・土（AM）は診察可能な場合もございますのでご確認いただけますと幸いです

2024年度 入院患者 疾患別件数【全28件】



● かくれ胃食道逆流症(GERD) / 逆流性食道炎外来 ●

私は、前任地で小児のGERDの診療をライフワークとしてきまして、その診断のために食道インピーダンスpH検査を多く行って参りました。

食道インピーダンスpH検査とは、7つのインピーダンスセンサーと2つのpHセンサーを食道に留置し、金属電極間での交流電流への抵抗を測定する検査法です。

この検査を行いますと、食道内容物の酸性度に関係なく、食道内の逆流の程度、異常なげっぷがないか、食道の運動異常があるのか、お薬が適切に効いているのか、見えない食道炎の程度、など、胃カメラ、pHモニタリングでは分からない食道内の細かな情報を捉えることが可能です。



この食道インピーダンスpH検査に関する専門外来は国内のいくつかの大学病院で開設されているのみですので、潜在的に需要が存在すると考えております。

もし、診療されている患者さんで、胃カメラで食道粘膜に異常所見のない、非びらん性GERD（NERD）が疑われる症状（①GERDの内服加療で症状が改善しない、②胃カメラでGERDは否定的だが胸やけなどのGERD関連症状を認める、③咽頭喉頭異常症がGERDによる症状かも知れない、など）を認め、更なる精査が必要でしたら、私の外来にご紹介頂けますと幸いです。

今後とも引き続きご支援頂けます様、何卒宜しくお願い申し上げます。

● 外 来 診 療 担 当 表 ●

月	火	水	木	金	土
		○			

麻酔科

常勤医師

部長：梅原 薫

卒業：2007年九州大学

専門：心臓血管麻酔、統計解析

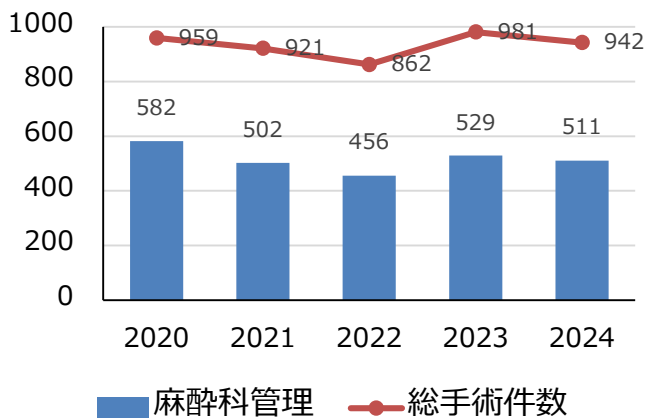
趣味：バドミントン



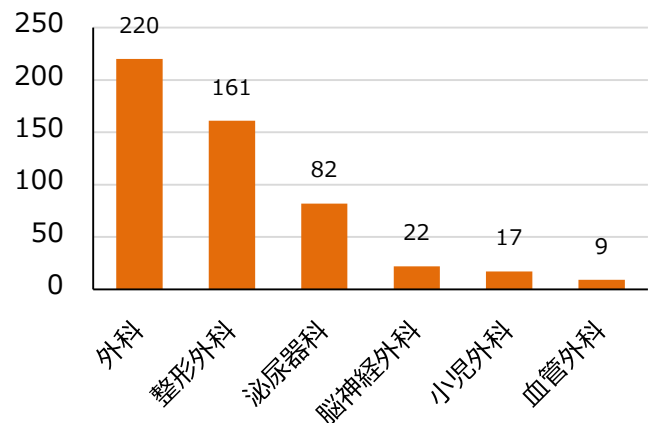
梅原 薫

麻酔科では常勤1名、非常勤3名で手術の際の麻酔・全身管理を担当しています。手術室は4室あり、昨年度(2024年度)行われた手術件数942件の内、麻酔科管理症例は511件(54%)でした。ここ数年はおよそ500件前後で推移しています。科別にみると、外科・整形外科の手術が多く、また、2024年度より小児外科が本格始動となりこどもの麻酔を担当する機会が増えてきました。年代別では、やはり70・80歳台の高齢者が多いということもあり、まず第一に安全を重視した麻酔管理を心掛けています。また周術期の安全に加えて、疼痛管理にも力を入れています。特に手術直後の疼痛軽減のために硬膜外麻酔や神経ブロックなどの区域麻酔を積極的に併用しており、2024年度は269件(53%)に区域麻酔を併用しました。さらに、術後痛に並んで患者さんを悩ませることが多い術後悪心・嘔吐の対策にも力を入れており、危険因子を把握し、それに応じて制吐薬の予防的投与/麻酔法の選択を行っています。また、質の高い周術期管理を目指し、細々とではありますが、周術期データを用いた研究にも取り組んでいます。最近では手術中の低血圧が術後の合併症や予後と関係することがわかってきており、現在はその術中低血圧の要因について探っています。常勤医師1人と限られたマンパワーではありますが、円滑な手術が行えるように、安全を徹底した麻酔管理、痛みや吐き気が少ない質の高い麻酔管理を心掛けて診療を行っています。

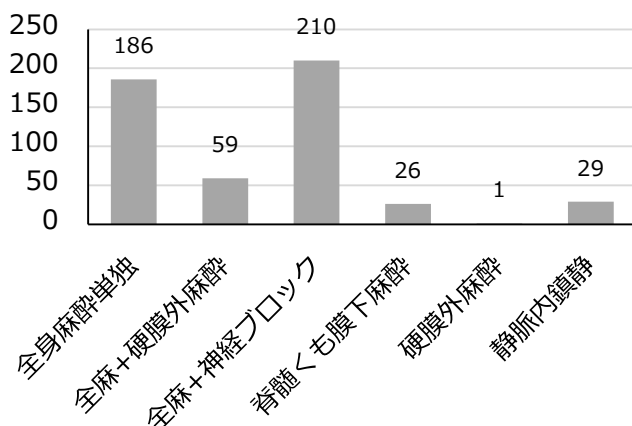
手術件数の推移 2020～2024年度



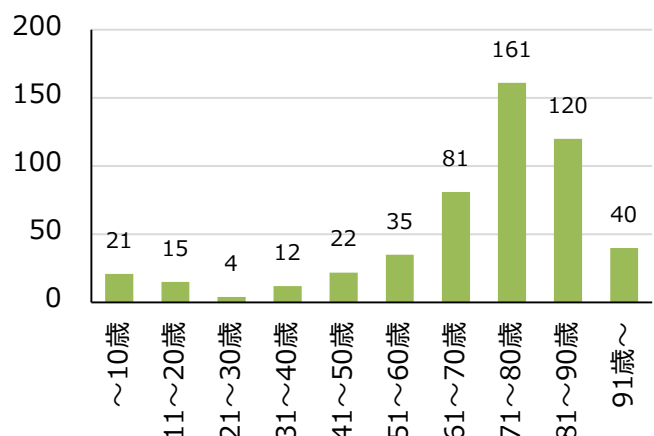
各科の麻酔科管理件数 2024年度



麻酔科管理の方法別件数 2024年度



年齢別の麻酔科管理件数 2024年度



脳神経外科



中島 美智

中島美智先生の紹介

院長 志波直人

病院長の志波です。私のほうから脳神経外科に新しく赴任された中島先生の紹介をさせていただきます。

本年5月の連休過ぎからのご勤務です。これまで、回復期の病院などを中心に勤務されておられます。

当院では、手術は行わず、高齢者の脳神経疾患を中心に診療を行っていただくようになります。脳神経外科の経過フォローなど、お困りの先生方がおられましたらご紹介いただければ幸いに存じます。高齢者の認知の問題に取り組んでおられ「物忘れ外来」を開始する準備をしております。

また、新たに本年7月から毎週水曜日の午後に久留米大学脳神経外科病棟医長の吉武秀展先生が非常勤医師としてご勤務されておられますので、よろしくお願いいたします。

ご本人からの詳しい自己紹介につきましては、次回以降の本誌で掲載とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

● 外 来 診 療 担 当 表 ●

	月	火	水	木	金
午前		中島		中島	
午後			吉武		



皮膚科

常勤医師 阿部俊文

非常勤医師 名嘉真武國



阿部俊文
皮膚科部長
2025年 4月着任

特 長

皮膚疾患には様々なものがあります。皮膚だけの疾患もありますが、老化に伴うものや糖尿病・腎臓病・肝臓病に伴うものや薬剤に伴う薬疹などもあります。すぐに治るものもあるのですが、皮膚科を受診される場合は難治性のものがほとんどです。

そのため何か所も病院を受診されることも多いと思います。治るかどうかは大事ですが、治りにくいものに関しては病気を理解して病気と付き合っていくことも重要なことだと思います。

当科では病気の診断とともに病気を理解してもらえようように丁寧に説明していきたいと思っています。

●主な取り扱い疾患●

下記以外にも様々な疾患があります。
皮膚に症状があればご相談ください。
下記疾患でも診断の入口までで治療は他科や
大学病院などにもお願いすることもあります。

- * 湿疹皮膚炎関連
(アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎(かぶれ)、
うっ滞性皮膚炎など)
- * 虫刺症
- * 蕁麻疹・痒疹・皮膚そうよう症
- * 細菌感染症(蜂窩織炎など)・
真菌感染症(白癬=水虫など)・
ウイルス感染症(带状疱疹や水痘=水ぼうそうなど)・
性感染症(梅毒など)
- * 紅斑症(結節性紅斑、多形紅斑など)・紅皮症
- * 薬疹
- * 血管炎・紫斑病・脈管疾患
- * 膠原病・類縁疾患(ベーチェット病など)
- * 水疱症(水疱性類天疱瘡など)・膿疱症(掌蹠膿疱症など)
- * 角化症(尋常性乾癬など)
- * 皮膚の良性腫瘍や悪性腫瘍
(手術については小手術や切開についてはある程度は
可能ですが、美容的に問題になるような症例や大きめの
腫瘍などは当科では困難と考え、その場合は聖マリア
病院や久留米大学病院などに紹介させていただくことと
があります。)

●治療薬の進歩●

アトピー性皮膚炎の治療薬

以前はステロイドの外用剤が中心でしたが、2018年からは分子標的薬の注射が出て重症で難治であった方に使用され劇的な効果を認めています。

その後も様々な効果のある内服剤や注射剤および外用剤が出てきています。

新薬については高価であるという側面もありますが、試してみる価値はあると思います。

当科で全ての薬剤が使用できるわけではありませんが、希望があれば可能な限り全ての薬剤についての説明は行いたいと思っています。

新しい薬剤についてはアトピー性皮膚炎だけでなく、尋常性乾癬・蕁麻疹などについても希望があれば説明いたします。

●外来診療担当表●

	月	火	水	木	金	土
午前	阿部	名嘉真	阿部	阿部 (第1・3・5週のみ) *第2・4週は1日不在	阿部	阿部 (第2・4週のみ)
午後		阿部				

土曜日は上記の
午前中しかおりませ
るので11時までの
紹介をお願いします
11時以降は受付不可

消化器内科

常勤医師

河川 康典
馬場 真二
甲斐 健一
小柳 要
三浦 峻

特 長

消化器内科では、消化器全般にわたる高度な医療を提供しています。当医療圏はC型肝炎高浸淫地域であり肝臓症例も多い地域ですが、外科と連携し、手術、ラジオ波焼灼術（RFA）、肝動脈化学塞栓術（TACE）および全身化学療法（分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬）など集学的な肝臓診療を行っています。C型肝炎に対しては直接作用型抗ウイルス薬（DAAs）を積極的に導入しており、肝硬変症例や腎不全例などを含めほとんどの症例でウイルス排除が得られています。B型肝炎についても核酸アナログの適切な導入を行い、ウイルス制御・肝臓癌抑制に努めています。また、肝炎ウイルス陽性者の拾い上げや化学療法におけるHBV再活性化予防の監視を徹底するために、院内における肝炎ウイルス検査のチェック体制も整備しています。近年、肝臓の成因として増えている脂肪性肝炎に対しては生活習慣是正による減量が重要であり、多職種が介入する半年間の体重コントロールプログラムを運用しています。内視鏡関連では種々の上下部内視鏡検査・治療および胆膵内視鏡検査・治療を実施しています。進行消化器癌に対する化学療法も、患者さんのQoLやご家族のケアも含めた全人的な介入を行えるように、多職種と協力し実施しています。

● 主な取り扱い疾患 ●

肝疾患	C型肝炎、B型肝炎、脂肪性肝疾患、アルコール関連肝疾患、肝硬変、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、肝臓 など
胆道疾患	胆石、胆嚢・胆管炎、胆嚢・胆管癌 など
膵疾患	急性膵炎、慢性膵炎、膵嚢胞性疾患、膵癌 など
上部消化管	逆流性食道炎、食道胃静脈瘤、胃潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ感染症、胃癌、十二指腸潰瘍 など
下部消化管	大腸ポリープ、感染性腸炎、虚血性大腸炎、大腸憩室出血、潰瘍性大腸炎、大腸癌 など

● 検 査 ・ 治 療 ●

検 査

腹部造影エコー、上下部内視鏡、超音波内視鏡（EUS）、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCPなど）

手 術

ラジオ波焼灼術（RFA）、肝動脈化学塞栓術（TACE）、経皮経肝的胆嚢・胆管ドレナージ（PTGBD・PTCD）、内視鏡的止血術、内視鏡的静脈瘤結紮術・硬化療法（EVL・EIS）、内視鏡的ポリープ切除術、内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、胃瘻造設術（PEG）、内視鏡的逆行性胆道ドレナージ（ERBD）、EUS下穿刺吸引法（EUS-FNA）など

● 外 来 診 療 担 当 表 ●

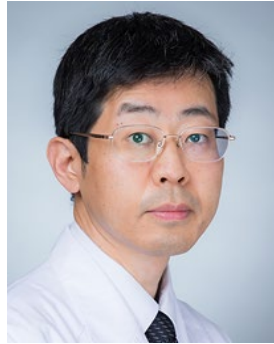
月	火	水	木	金	土
三浦 峻	河川 康典	小柳 要	甲斐 健一	馬場 真二	当番医 (午前のみ)



河口 康典
副院長
肝胆脾内科部長
感染管理部部長

【専門領域】

肝臓・胆道・脾臓疾患
B型肝炎・C型肝炎・
自己免疫性肝疾患・
脂肪性肝疾患の診断と治療、
肝硬変の栄養・薬物療法、
肝臓の局所治療、
肝胆脾領域の化学療法



馬場 真二
【専門領域】
肝臓一般



甲斐 健一
【専門領域】
消化器内科



三浦 峻
2025年4月 着任
【専門医等】
日本外科学会専門医



小柳 要
2025年4月 着任
【専門領域】
消化器内科

2024年度 内視鏡検査件数

EGDs	外来	1616
	入院	309
CS	外来	501
	入院	247
ERCP	外来	7
	入院	108

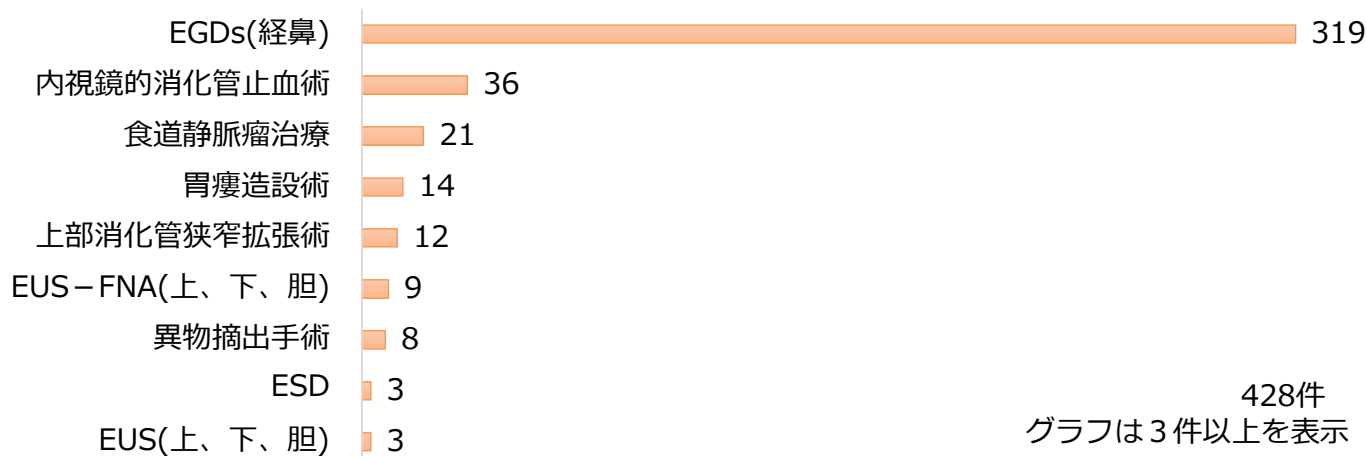
● 2024年度 消化器内科 統計情報 ●

● 入院患者 疾患別件数 ●

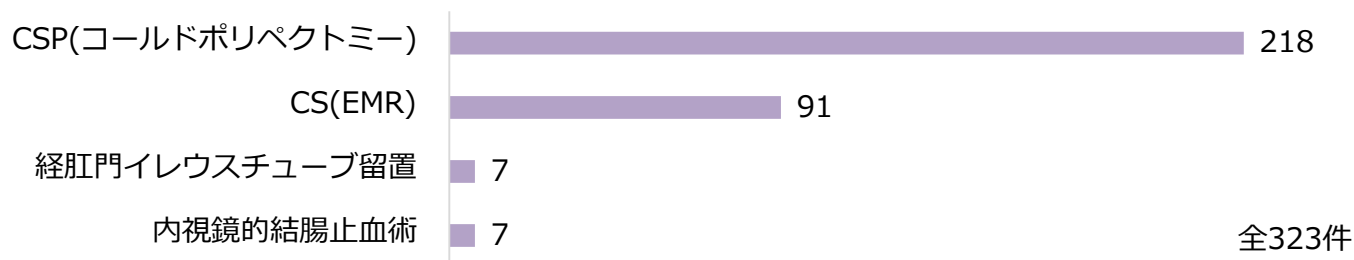


● 2024年度 内視鏡的治療件数 総数 962件 ●

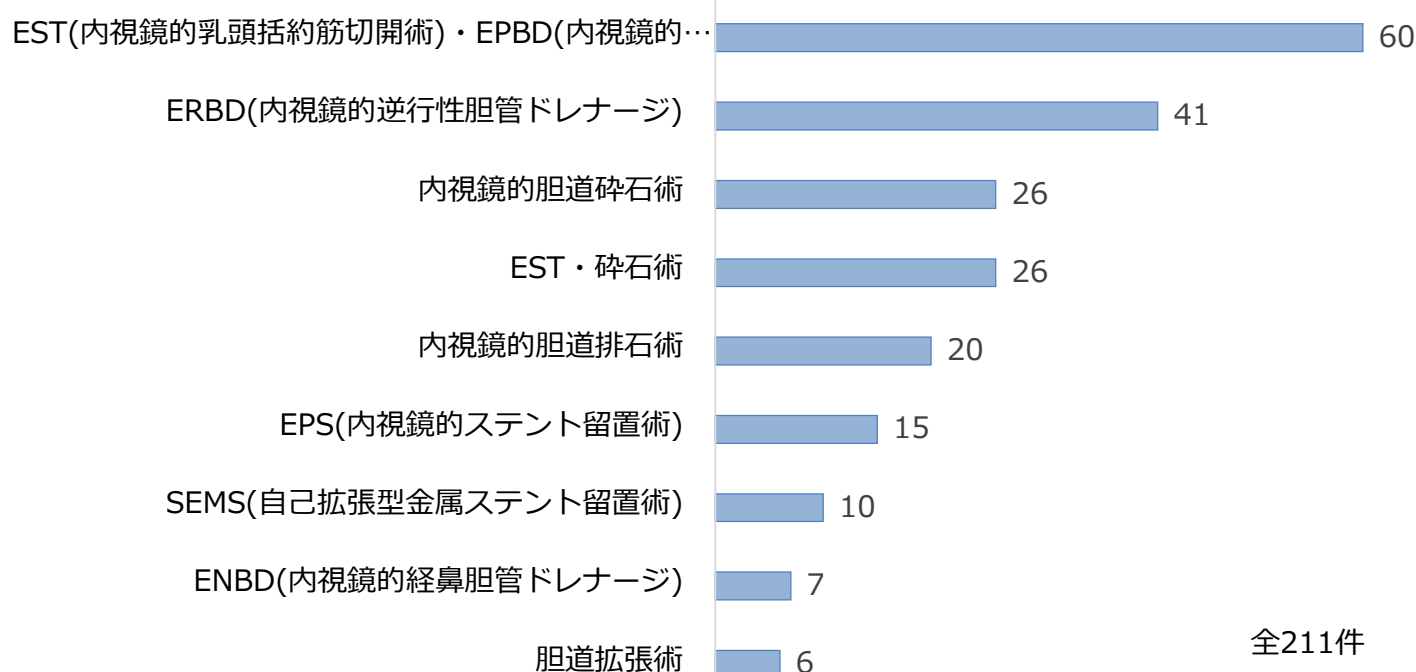
● 内視鏡治療件数【EGDs】 ●



● 内視鏡治療件数【CS】 ●



● 内視鏡的治療件数【ERCP】 ●



呼吸器内科

常勤医師 佐藤 留美 真玉 豪士

非常勤医師 森淵 肅斗 岡山 雄亮 増田 健
堀井 貴之 白石 静香

特 長



佐藤 留美
呼吸器内科部長
診療部長

当科は地域に密着した、患者さん中心の医療を目指し、呼吸器系の様々な感染症、肺・縦隔腫瘍、アレルギー性疾患（気管支喘息、好酸球性肺炎、アレルギー性気管支肺真菌症など）、間質性肺炎、呼吸不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気胸、睡眠時無呼吸症候群など、多岐にわたる呼吸器疾患に対して専門的診療を行っています。

久留米大学の呼吸器内科と同じ医局（第一内科）である膠原病内科及び脳神経内科とも密に連携し、膠原病に伴う間質性肺炎をはじめ、不明熱、神経難病による呼吸不全、髄膜炎などの症例にも対応しています。高度な症例に関しては、久留米大学病院と相互に患者さんを紹介し合い、外来及び入院を受け入れています。

当科では、週一回の病棟回診ならびに多職種カンファランスを行っています。医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士、退院支援、医師サポートが協働し、患者さんの早期回復と退院後の療養先の選定について積極的に取り組んでいます。

加えて、週一回、呼吸器外科との合同カンファランスも行っています。肺・胸膜・縦隔腫瘍や気胸の外科的治療、及び胸腔鏡下肺生検の適応症例などを検討しています。



真玉 豪士
2025年 4月着任

2024年度の呼吸器内科は常勤医1人体制であったためご不便をおかけしましたが、地域の医療機関の先生方のご理解ならびに当院他科の先生方のご協力とご支援のもと、肺炎等の延べ480人程の呼吸器疾患の入院患者さんの診療にあたってまいりました。2025年度からは常勤医2人体制となり、また、非常勤医も複数名所属していますので、適宜急患にも対応可能です。必要に応じて気管支鏡検査も行っています。お気軽に御紹介・御相談頂けますと深甚です。

● 主な取り扱い疾患 ●

- ◆呼吸器感染症：細菌性肺炎、ウイルス性肺炎、肺真菌症、肺結核、肺非結核性抗酸菌症、肺寄生虫症など
- ◆アレルギー疾患：気管支喘息、好酸球性肺炎、アレルギー性気管支肺真菌症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症など
- ◆肺・胸膜・縦隔腫瘍：肺癌、胸膜中皮腫、胸腺腫など
- ◆間質性肺炎：特発性、膠原病性、薬剤性など
- ◆呼吸不全：急性、慢性
- ◆その他：気管支拡張症、過敏性肺炎、サルコイドーシス、気胸、石綿肺、塵肺、睡眠時無呼吸症候群など

● 外来診療担当表 ●

月	火	水	木	金	土
白石	真玉	佐藤、堀井	森淵	岡山	

- 常勤医2人すべて呼吸器学会専門医（佐藤、真玉）
- 常勤医1人は日本呼吸器学会指導医（佐藤）
- 非常勤医5人中、3人は呼吸器学会専門医（岡山、森淵、増田）

呼吸器指導医	常勤医1人（佐藤）
呼吸器指導医	常勤医1人（佐藤、真玉）
呼吸器専門医	常勤医2人（佐藤、真玉） 非常勤医3人（岡山、森淵、増田）
総合内科専門医	常勤医2人（佐藤、真玉） 非常勤医1人（岡山）
内科認定医	常勤医2人（佐藤、真玉） 非常勤医3人（岡山、森淵、増田）
感染症指導医	常勤医1人（佐藤）
感染症専門医	常勤医1人（佐藤）
アレルギー専門医	常勤医1人（佐藤）
結核・抗酸菌症指導医	常勤医1人（佐藤）
結核・抗酸菌症認定医	常勤医1人（佐藤）
抗菌化学療法指導医	常勤医1人（佐藤）
抗菌化学療法認定医	常勤医1人（佐藤）
肺がんCT検診認定医	常勤医1人（佐藤）
がん薬物療法専門医	非常勤医1人（増田）
がん治療認定医	非常勤医1人（増田）
インфекションコントロールドクター	常勤医1人（佐藤）
医学博士	常勤医2人（佐藤、真玉）

●2024年度 呼吸器内科 統計情報 入院患者 疾患別件数●



総合診療科

特 長

総合診療科は、多様な症状や疾患に対応する「医療の窓口」として、患者さま一人ひとりの健康を総合的にサポートします。特に高齢化により増加する多疾患合併症例に対しては、患者さまの全体像を把握し、総合的な医療を提供することを重視しています。

近隣の病院・クリニック、老人保健施設からのご紹介にも対応しており、地域の医療ネットワークと連携しながら患者さまに最適な医療をご提供しています。

◇診療の特徴

幅広い対応力 : 一般的な内科疾患から、複数の疾患を抱える患者様の治療計画立案まで対応し加療いたします。

包括的ケア : 患者様一人ひとりに適した医療提供を行い、必要に応じて専門診療科との連携も行います。
各診療部と連携して服薬管理・薬剤調整・リハビリテーション
摂食機能評価などに対応いたします。

地域医療への貢献：地域医療機関と連携し、皆様の健康を支えます。

◇主な診療内容

発熱や咳、頭痛、倦怠感など原因が明確でない症状の診断・治療

生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症など）の管理

健康診断や人間ドックで発見された異常の精査

他診療科への適切な紹介・フォローアップ

◇私たちの目指すもの

「困ったらまず総合診療科へ」という信頼を築くことを目標に、患者様の心身の健康を全力でサポートいたします。

医 師 紹 介

令和7年4月より総合診療科部長に就任いたしました浦田秀則です。福岡大学筑紫病院循環器内科にて24年間にわたり診療・研究・教育に携わり、多くの患者様と向き合い、豊富な経験を積んでまいりました。このたび、朝倉医師会病院総合診療科での勤務を開始いたしました。これまで培ってきた専門性と幅広い知識を活かし、地域の皆様に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈資格〉

日本内科学会 認定内科医 総合内科専門医

日本循環器学会 認定循環器専門医

日本高血圧学会 認定専門医 指導医



総合診療科部長
2025年 4月着任

循環器内科

常勤医師 大島英樹 吉村彩子

非常勤医師 山方勇樹 別府仙梨 中村佐知子



大島 英樹

【専門領域】
循環器一般



吉村 彩子

【専門領域】
循環器内科一般

特 長

循環器内科は、心不全、冠動脈疾患、心臓弁膜症、不整脈疾患、高血圧症などの心臓と血管の病気を対象とし、精査、治療、予防を行っております。他の診療科や地域の医療機関とも連携し、心疾患の早期発見や早期治療を目指しております。

循環器病の急性期治療から、心臓リハビリテーションによる回復期治療、慢性期の食事・運動療法や服薬指導まで、包括的管理を多職種によるチーム医療で行っております。

久留米大学病院の関連病院施設であり、密接な連携をとりながら診療を行っております。

● 主な取り扱い疾患 ●

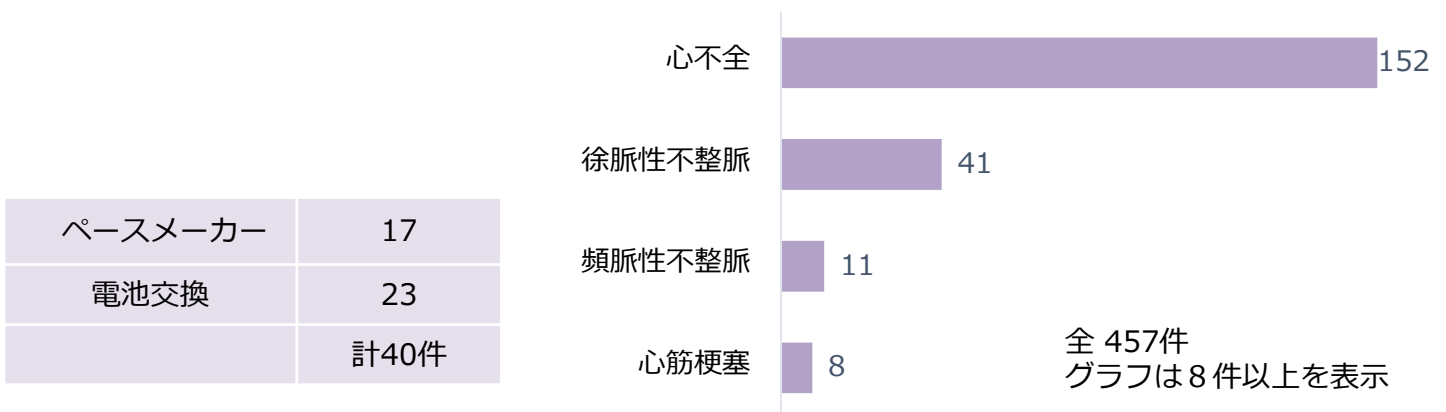
- 冠動脈疾患(狭心症・心筋梗塞)
- 心不全
- 不整脈
- 心臓弁膜症
- 先天性心臓病
- 心筋症
- 動脈硬化症を起こす原因である生活習慣病(高血圧症、脂質異常症)

◆徐脈性不整脈に対して、恒久的ペースメーカー植え込み術を実施しております

● 検 査 ・ 治 療 ●

- 心電図
- 心エコー図検査
- 運動負荷試験
- 24時間心電図
- 冠動脈CT
- 頸動脈エコー
- 血圧派波検査 などが施行できます

● 2024年度 循環器内科 統計情報 入院患者 疾患別件数 ●



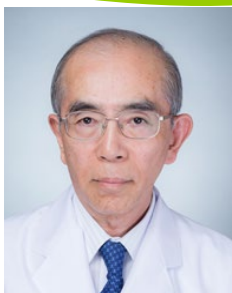
● 外来診療担当表 ●

月	火	水	木	金	土
山方	別府	中村	吉村 (急患のみ)	大島	大島

糖尿病・ 内分泌内科

常勤医師

山田 研太郎
中山 ひとみ
吉岡 博志



山田 研太郎
顧問

【専門領域】
糖尿病、内分泌疾患、
肥満症



中山 ひとみ
糖尿病内分泌内科部長
2025年 4月着任

【専門領域】
内分泌代謝、糖尿病、
肥満症



吉岡 博志
2025年 4月着任

【専門領域】
糖尿病、内分泌

● 特 長 ●

- ◆ 地域における糖尿病診療のセンターとして血糖コントロールの改善、食事指導、インスリン導入、合併症精査などを通じて病診連携に貢献します
- ◆ 甲状腺疾患などの内分泌疾患の精査と治療方針の決定を担当します
- ◆ 常勤・非常勤の糖尿病専門医と糖尿病療養指導士の資格を持つコメディカルスタッフも多く、チーム医療で糖尿病の治療と指導に取り組んでいます
- ◆ 教育入院プログラムがあり、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師による糖尿病教室を開催しています
- ◆ 肥満症専門医を中心に、最新の治療薬を取り入れて肥満症やメタボリックシンドロームの治療に取り組んでいます
- ◆ 甲状腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患に対しては、内分泌学会認定専門医を中心に専門的診療を実施しています

● 取り扱い疾患 ●

代謝疾患：

糖尿病、脂質異常症、
高尿酸血症、肥満症など

内分泌疾患：

甲状腺疾患、下垂体疾患、
副腎疾患、電解質異常、
内分泌性高血圧症など

● 検 査 ●

糖尿病合併症の検査：

眼底検査、神経伝導速度、
腎エコー、頸動脈エコーなど

甲状腺の検査：

甲状腺エコー、
甲状腺穿刺吸引細胞診 など

下垂体・副腎疾患：

ホルモン分泌負荷試験
画像検査など

最新の治療法を取り入れるだけでなく、ひとり一人の患者さんの状況に合わせた、患者さん中心のやさしい医療を目指しています。

● 基本理念 ●

1. 病診連携に基づく医療
2. 多職種によるチーム医療
3. 最新の医療
4. 患者さん中心の医療

● 外来診療担当表 ●

月	火	水	木	金	土
山田 吉岡	山田 中山	中山 吉岡	山田	中山 吉岡	中山(第2,第4) 吉岡(第1,第3,第5)

● 2024年度 糖尿病・内分泌内科 統計情報 入院患者 疾患別件数 ●

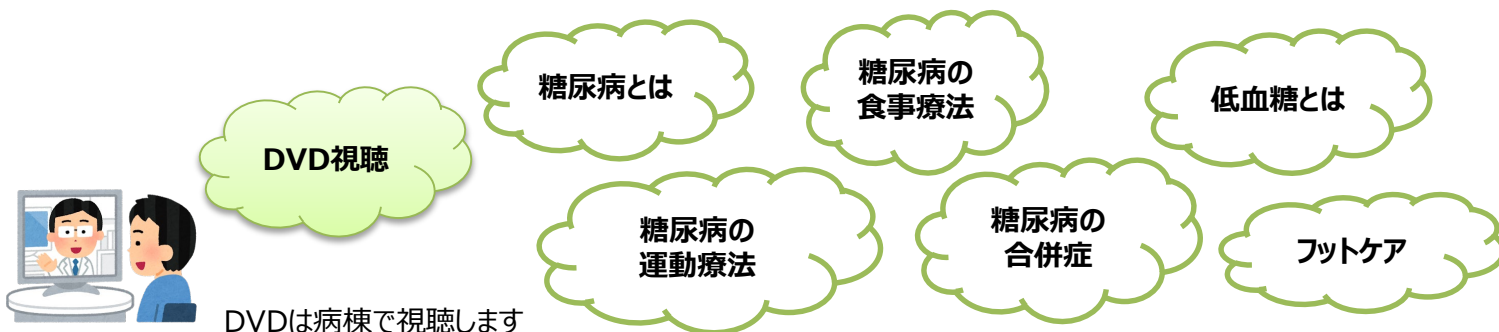


当院では入院教育にて糖尿病教室を行っております

糖尿病は一生つきあっていかなくてはならない病気です。
糖尿病とはどんな病気なのか、どのようなことを気をつければよいのかを知り、実践していくことが大切です。
これからの元気で快適な生活のために、一緒に勉強していきましょう！

- 【目標】・糖尿病を理解し、病気と共に生活する方法がわかる。
・食事療法を理解し実践できる。
・生活のなかに運動療法を取り入れることができる。

開始時間	〇/〇（月）	〇/〇（火）	〇/〇（水）	〇/〇（木）
14:30	糖尿病とは 中山医師			
15:00	日常生活について 看護師	運動療法について 理学療法士	糖尿病と食事 管理栄養士	糖尿病の合併症 吉岡医師
15:30	糖尿病と検査 臨床検査技師	薬について 薬剤師		まとめとQ&A 山田医師



※糖尿病教室は、祭日などの関係でスケジュールが変更になることがあります。
その他、わからないことがありましたら病棟看護師にお尋ねください。

緩和ケア

常勤医師

鈴木 稔
村上英嗣



鈴木 稔

【専門領域】

緩和ケア領域・緩和ケア認定医

特 長

がんと言われたその日から、緩和ケアは必要と言われています。
がん患者様の身体や心の辛さを和らげ、その人らしさを大切にします。
当院では多職種で構成された緩和ケアチームがさまざまなサポートをします。
また、患者さん・家族に寄り添った医療と看護の提供を致します。



診断時

死亡



村上英嗣

●緩和ケア病棟の基本方針●

1. 緩和ケアを必要とする患者さん、ご家族に
潤い、安らぎを与え、地域とのコミュニケーション
を図り、その人らしく有意義に過ごすことができる
ように支援します。
2. がんに伴う身体的、精神的な苦痛や不快な症状を
緩和するための治療やケアを提供します。
3. 患者さんにご家族が住み慣れた場所で緩和ケアが
受けられるように、医師会会員をはじめ、他の
医療機関や訪問看護ステーションとの連携を図ります。
また、外来や在宅への円滑な移行を支援します。
4. 医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・医療相談員・
臨床心理士・看護助手・クラーク・栄養士・事務職員・
ボランティア等でチームを組み、患者さんにご家族を
支援します。

●対象疾患●

がんの診断がついた悪性新生物は全て
緩和ケアの対象となります

●がんサポートチーム●

一般病棟入院中や外来通院中の
がん患者さんと、そのご家族に対して

- ◆身体症状：
痛み・吐き気・息苦しさ・だるさなど
- ◆精神症状：
不安・眠れない・気持ちの落ち込みなど
- ◆退院支援
- ◆療養先の調整
- ◆家族サポート

などを行います

●外来診療担当表●

緩和ケア外来への紹介は、がん相談支援センターへ
ご連絡をお願い致します。

	月	火	水	木	金	土
午前		鈴木 (再診)		鈴木 (再診) 村上 (新患)		
午後		鈴木 (新患)		鈴木 (新患)		

*お急ぎの場合は
随時 対応させて
いただきます

人間ドックのご案内



人間ドック・健康診断の
意義・目的は

病気の

「早期発見」

「早期治療」と

健康の

「保持」「増進」です

自分のために
大切な人のために
定期健診を
受けましょう



人間ドック

生活習慣病に関する検査項目も含んだ健診です。
検査項目に応じてコースを選択できます。

料金：一般ドック 44,500円(税込)

基本ドック 31,840円(税込)

簡易ドック 15,320円(税込)



生活習慣病予防健診

対象:35～74歳の協会けんぽ被保険者(ご本人)

保険者から健診費用の約6割が補助されます。

大変お得な健診となっています。

※内容によって金額が異なります。

レディースドック

女性のための日帰りドック♪

一般ドックに加えて女性特有の検査項目を含む
健診です。

お食事付き♪

火・金曜日に実施しています。

※火曜日はレディースデーです

女性スタッフが対応します♪

料金：58,800円(税込)



♥レディースドックに含まれる検査項目♥

甲状腺検査	血液検査,エコー
乳房検査	マンモグラフィー,エコー
子宮がん検診	細胞診,内診,腫瘍マーカー
腫瘍マーカー	腫瘍マーカー
血管検査	眼底,動脈硬化検査,頸動脈エコー
骨密度検査	DEXA法

法定健診

労働安全衛生法に基づく健診です。
企業にお勤めの方は、年に一度の定期
健診が義務付けられています。

料金：9,350円(税込)



専門ドック

専門的な検査(脳,肺,甲状腺,肝臓,血管)を
行います。(詳細は別紙参照)

特定健診・特定保健指導

対象:40～74歳

メタボリックシンドロームに着目した健診です。

後期高齢者健診

対象:75歳以上

生活習慣病の発症や重症化の予防に着目した
健診です。

健診ご予約・お問い合わせ

朝倉医師会病院 健診科(直通)

0946-28-7067

(FAX:0946-28-7087)

※専門ドック・オプション検査は健診コースと組み合わせて受診することができます。

高気圧酸素治療のご案内

高気圧酸素治療について

装置内を通常より高い気圧にし、100%の酸素を吸入することによって病態の改善を図る治療法です

酸素を吸うとヘモグロビンと酸素が結びつきます(結合型酸素)

高気圧酸素治療では、さらに高気圧下で酸素を吸入すると圧力に応じて血液の液体成分である血漿に溶け込みます(溶解型酸素)

これらの効果によって・・・組織の低酸素状態の改善、創傷治癒の促進、圧力の物理的効果などの効果が期待できます

適応疾患

次の疾患に対して行う場合に、一連につき10回を限度として算定する。

- ・ア】急性一酸化炭素中毒その他のガス中毒（間歇型を含む。）
- ・イ】重症軟部組織感染症（ガス壊疽、壊死性筋膜炎）又は頭蓋内膿瘍
- ・ウ】急性末梢血管障害
 - ・（イ）重症の熱傷又は凍傷
 - ・（ロ）広汎挫傷又は中等度以上の血管断裂を伴う末梢血管障害
 - ・（ハ）コンパートメント症候群又は圧挫症候群
- ・エ】脳梗塞
- ・オ】重症頭部外傷後若しくは開頭術後の意識障害又は脳浮腫
- ・カ】重症の低酸素脳症
- ・キ】腸閉塞

次の疾患に対して行う場合に、一連につき30回を限度として算定する。

- ・ア】網膜動脈閉塞症
- ・イ】突発性難聴
- ・ウ】放射線又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍
- ・エ】難治性潰瘍を伴う末梢循環障害
- ・オ】皮膚移植
- ・カ】脊髄神経疾患
- ・キ】骨髓炎又は放射線障害

<R6 保医発0305第4号>

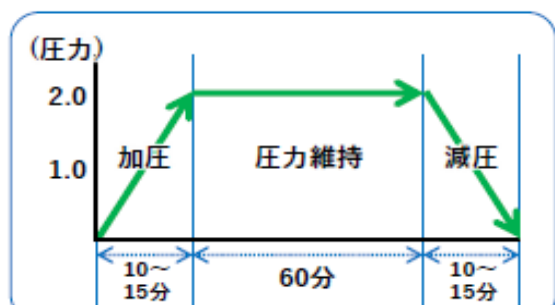
診療報酬点数

J027 高気圧酸素治療（1日につき）

上記の疾患は、「減圧症または空気塞栓」5,000点以外の「その他のもの」に分類されます
2 その他のもの 3,000点



透明で外が見えるため安心です。
ゆっくりくつろげるように
何でもご相談下さい。



患者様説明用のリーフレットも準備しております。朝倉医師会病院、地域連携室
までお問い合わせください

朝倉医師会病院 臨床工学科

外来担当医一覧表(令和7年8月)

		曜 日	月	火	水	木	金	土
内 科 系	消化器		三浦峻 (新患)	河口康典 (新患)	小柳要 (新患)	甲斐健一 (新患)	馬場真二 (新患)	甲斐健一 (第1週) 馬場真二 (第2週) 三浦峻 (第3・5週) 河口康典 (第4週)
			河口康典 (再診)	三浦峻 (再診)	(AM)河口康典 (再診)	河口康典 (再診)	河口康典 (再診)	
			(PM)甲斐健一 (再診)		馬場真二 (再診)	馬場真二 (再診)	小柳要 (再診)	
	呼吸器		(AM)白石静香	真玉豪士	佐藤留美	森渕肅斗	(AM)岡山雄亮	
				森渕肅斗	(AM)堀井貴之			
					(PM)森渕 肅斗			
	循環器 1		山方勇樹 (新患)	別府仙梨 (新患)	中村佐知子 (新患)	吉村彩子 (急患のみ)	大島英樹 (新患)	大島英樹 (新患)
	循環器 2		大島英樹 (再診・ペースメーカー)	吉村彩子 (再診・ペースメーカー)	大島英樹 (再診)		吉村彩子 (再診・ペースメーカー)	
	循環器 3				(AM)亀尾 恒 (再診)			
	糖尿病内分泌内科 1		吉岡博志 (再診)	中山ひとみ (新患・再診)	吉岡博志 (新患・再診)		(AM)中山ひとみ (新患・再診)	中山ひとみ (第2,4週) (新患・再診)
	糖尿病内分泌内科 2		(AM)山田研太郎 (新患のみ)	(AM)山田研太郎 (新患・再診)	中山ひとみ (新患・再診)	(AM)山田研太郎 (新患・再診)	吉岡博志 (新患・再診)	吉岡博志 (第1,3,5週) (新患・再診)
	脳神経内科		(AM)櫻田直了		(AM)古賀真彦		(AM)姫野洋平	
外 科 系	腎臓内科		植田詩子			植田詩子		
	総合診療		浦田秀則	(AM)浦田秀則	(PM)浦田秀則	堀尾卓矢 浦田秀則	浦田秀則	浦田秀則 (第2,3,5週)
	消化器 1		堀尾卓矢 (新患)	今村真大 (新患)	木山楓 (新患)	村上英嗣 (新患)	田尻健亮 (新患)	担当医
	消化器 2			田尻健亮	今村真大		村上英嗣	
	消化器 3				(AM)鈴木 稔 (再診のみ)		木山楓	
	乳 腺				竹中美貴			
	肝・胆・膵			今村真大	今村真大			
	血管外科 (完全予約)					(PM)比嘉義輝 (第2,4週 OP対応のみ)		
	脳神経外科			(AM)中島美智	(PM)吉武 秀展	(AM)中島美智		
	整形外科 1		(AM)山木宏道 (新患(第2,4週)・再診)	(AM)志波直人 (骨粗鬆症)	(AM)山木宏道 (新患・再診)	(AM)山木宏道 (新患(第1,3,5週)・再診)	(AM)志波直人 (骨粗鬆症)	担当医
	整形外科 2		(AM)吉光一浩 (新患(第1,3,5週)・再診)	(AM)高木孝平		(AM)矢野瑤子 (新患(第2,4週)・再診)	(AM)吉光一浩 (新患(第2,4週)・再診)	
	整形外科 3						(AM)矢野瑤子 (新患(第1,3,5週)・再診)	
	泌尿器科		(AM)坂井友弥	(AM)坂井友弥	(AM)坂井友弥		(AM)坂井友弥	
					(AM)築井克聡			
	皮膚科		(AM)阿部俊文	名嘉真武國 (11:00受付まで) (PM)阿部俊文	(AM)阿部俊文	(AM)阿部俊文 (第1・3・5週)	阿部俊文	(第2・4週)阿部俊文
	緩和ケア(外来) (完全予約)			鈴木 稔 (AM)再診 (PM)新患		鈴木 稔 (AM)再診 (PM)新患		
	小児科			明井孝弘		後藤憲志		
	小児外科・ こどものおなか外来		深堀 優		深堀 優		深堀 優 (第1,2,4,5週)	
	かくれGERD・ かくれ逆流性食道炎外来		深堀 優					
	肝 炎 ・ 肝 癌						肝生検・RFA 河口康典	
	睡眠時無呼吸					(PM)増田健		
	血 液 内 科				(AM)福山俊旦	(AM)長藤宏司		
	骨 粗 鬆 症			(AM)志波直人			(AM)志波直人	
	関 節 外 科 (股 関 節 ・ 膝 関 節)		(AM)吉光一浩 (AM)山木宏道			(AM)山木宏道	(AM)吉光一浩	
専 門 外 来	リウマチ科			(AM)海江田信二郎		(PM)古賀琢真		
	呼吸器外科					光岡正浩		
	肛 門 外 科			今村真大 ・ 田尻健亮	今村真大		田尻健亮	
	肥 満 症 外 来						(AM)山田研太郎 (完全予約制)	
	認 知 症							
	禁 煙(完 全 予 約)							
	セカンドオピニオン (完 全 予 約)		山田研太郎・河口康典	山田研太郎・河口康典	山田研太郎・(AM)河口康典	山田研太郎・河口康典	山田研太郎・河口康典	
	画 像 診 断		蒲地紀之 (AM)久木山智子	(AM)蒲地紀之 (PM)古賀亜紀子	蒲地紀之	蒲地紀之	蒲地紀之	蒲地紀之 安座間真也

第11回
住民公開講座

入場無料！
参加者に粗品を
プレゼント！

託児あり

2人に1人！？

がんの時代に
できること

～早期発見のために～

2025.10.18 土 13:00 開場
14:00 開演

in 朝倉医師会病院 2階研修ホール

講演



14:00～15:00

「2人に1人！？
がんの時代にできること
～早期発見のために～」

座長：朝倉医師会病院
病院長 志波 直人

演者：朝倉医師会病院
副院長 今村 真大

体験イベント



第1部 13:00～14:00

第2部 15:00～16:00

- ・ 血圧測定
- ・ 体力測定
- ・ 身長/体重/視力測定
- ・ プチ体力測定
- ・ 肝硬度測定
- ・ 栄養管理科展示
- ・ キッズファーマシー
- ・ 3D立体視
- ・ 乳がん予防のセルフチェック

相談コーナー



第1部 13:00～14:00

第2部 15:00～16:00

- ・ 病気や治療について
- ・ 日常生活に関すること
- ・ お薬や副作用
- ・ がんの支援制度
- ・ 生活や経済的なこと
- ・ 食事や栄養管理
- ・ 不安やストレス



主催：朝倉医師会病院 福岡県朝倉市来春422-1
お問い合わせ：地域がん診療病院 事務局 / 総務課 tel.0946-23-0077

～ 病院理念 ～
最新の医療を提供し、住民に愛され、
信頼される病院をめざします



「緒方春朔種痘成功200年記念顕彰碑」(病院敷地内)

地域の皆様や会員の先生方におかれましては
引き続き大所高所よりのご理解をいただき
今後一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう
何卒よろしくお願い申し上げます